

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年3月18日～2017年3月24日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週は、リアルは対米ドル・対円ともに下落しました。債券は金利低下となりました。

国内では週末にイラン中央銀行総裁が、今回の利下げサイクルは過去と比較して大胆な利下げになりうると発言しました。また注目の年金改革法案について、テメル大統領は反対意見を考慮し地方公務員を除外すると発言しました。なおメイレス財務相は財政収支が目標に582億リアル不足するとし、ガンソリン税の引き上げなどで対応する見通しを発表しました。

海外要因では、米国の下院議会にて共和党が提案したオバマ・ケア代替案が下院で支持を得られなかった結果、共和党は同代替案を撤回しました。トランプ大統領はリーダーシップを下院で発揮することはできなかったものの、税制改革には引き続き意欲的に取り組む姿勢を明らかにしました。

### 【2】今週の見通し

今週はいくつかの景気指標が発表される予定ですが、それよりもブラジル中央銀行が3月30日(現地)に発表する四半期インフレレポートに注目しています。物価目標は4.5%±1.5%ですが、すでに物価はレンジ内に収束しており、今後一層鈍化する見通しです。中央銀行がさらなる物価沈静見通しを提示するかどうか注目しており、その結果次第では一回当たり0.75%ポイントの利下げ幅がさらに拡大する可能性もあり、金利低下の材料になると考えています。逆に歳入不足に対して政府は税金の引き上げで対応する方針のため、インフレ率のかく乱要因です。

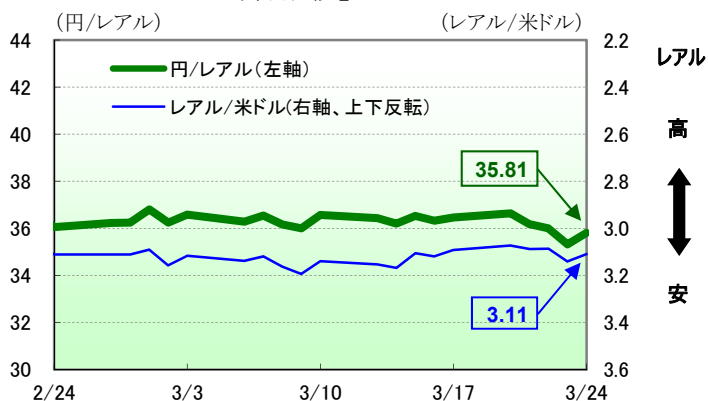
公的年金支給年齢の引き上げや社会保障改革などの緊縮策には各方面から反発が生じていますが、政権が財政健全化を着々と進め、海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジルへの投資活発化を通じてリアルが下支えされることが期待されます。なお食肉偽装問題については、今のところ市場では大きな問題とはなっていません。

### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/22	毎月	2017年3月	インフレ率(15日締め、前年同月比)	4.73%	5.02%
3/24	毎月	2017年2月	経常収支(百万米ドル)	-935	-5,085
3/30	毎月	2017年1月	経済活動指数(前年同月比)	--	-1.82%
3/30	毎月	2017年1月	小売売上高(前年同月比)	--	-4.9%
3/30	毎月	2017年2月	中央政府財政収支(億ブラジル・リアル)	--	190

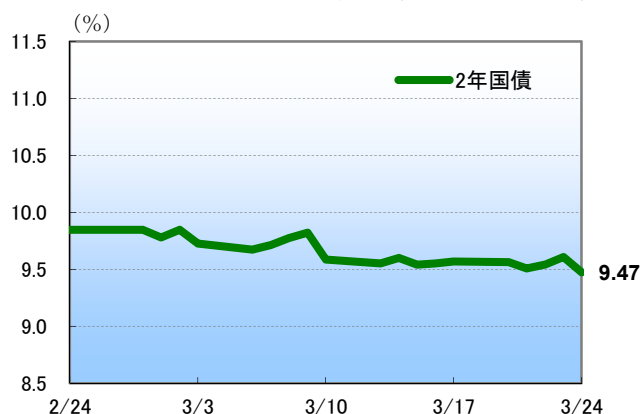
(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

【ブラジル・リアル 為替推移】(2017年2月24日～2017年3月24日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年2月24日～2017年3月24日)



### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
  - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
  - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
  - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>